



## 聞いていますか？

聖書朗読 伝道者の書 5:1~7

しかし、だれでも、聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい。

ヤコブ 1:19

“コミュニケーション能力が高い人”と聞いて、どういうことを思い浮かべますか。面白くて、分かりやすく話す人ですか。確かに、それも大事なことです。聖書は、コミュニケーションというコインの裏面をよく見るようにと教えています。私たちはまず、人の話を聞かなければなりません。人々との交流や神様との関係において、聞くことは重要です。

伝道者の書の教師は、語るためだけでなく、聞くために、神に近寄るようにと忠告します。神様は、私たちが聞くべきことを、たくさん与えてくださっています。鳥が鳴くのを聞いて、神様の驚くべき創造のみわざに思いを巡らしましょう。高齢者の知恵に注意を向けましょう。幼い子どもが熱心に「あのね、あのね。」と話す言い方を楽しみましょう。傷ついている者の叫びを心に留めましょう。幸せな人々から励ましをもらいましょう。讃美歌・聖歌の歌詞についてよく考えてみましょう。みことばを通して語られる神様の御声を聞きましょう。御霊の言われることを聞きましょう。

この世には人間の作り出す音が氾濫しています。あなたが語って、人間の音を追加するよりか、神様が送ってくださっている音に近づいて、聞きましょう。

讃美歌 19

祈り 神様、あなたをたたえます。あなたは私たちに気にかけてくださる神であります。あなたの私たちへのメッセージを聞き、生活の中で実践できるように助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル  
ケヴィン B・レイチェル

1月24日(水)

## 人生の無常

聖書朗読 伝道者の書 11:1~6

あなたのパンを水の上に投げよ。

ずっと後の日になって、あなたはそれを見いだそう。 伝道 11:1

伝道者の書の著者は、11章1~6節で4度、『あなたは知らない』という言い回しをしています。私たちの人生には、私たちがどうにもできないような多くのことが起こります。この先、どうなるのかわからないのは、心身が消耗し疲れます。前途にある危険を知らせる警告音は鳴りません。神様がどのように働かれるか、私たちにはわかりません。

人生の無常に直面して、あなたはどうしますか。受け身になって、ただ何もしないことを選択する人もいます。恐れる気持ちから、イエス様のたとえ話の中のタラント預かっていた者のように行動する人もいます。彼は、預かっていたタラントをなくすのがこわくて、地の中に隠しておきました。(マタイ 25:24~25) 私たちは安全を望みます。“備えあれば憂いなし”が私たちの人生哲学かもしれません。

しかし、伝道者の書は、勇気をもって行動せよと私たちに迫ります。天気が不安定であっても、農夫は種を蒔き、刈り入れをします。金銭的に心もとなくても、持てる物を気前よく与えるようにと、伝道者の書は忠告します。それこそ、エルサレムの貧しい聖徒たちがしたことでした。財政上不安定でありながら、エルサレムの諸教会は、資産や持ち物を売っては、それぞれの必要に応じて、みなに分配していました。(使徒 2:44~45) 人生の無常に直面して、神の人は、悲痛のあまり両手をもみ絞るようなことはしません。神様の御力とみ恵みにより、不確かな未来に直面しても、他の人々の必要に勇敢に応えます。

讃美歌 520

祈り 天のお父様、あなたのうちにある平安を感謝します。絶え間なく人生の無常に直面する時、他の人々のために、勇気をもって無私の心で行動することができるよう強めてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 サマヴィル / デイブ・ブランド

1月25日(木)

## 主権は誰に

聖書朗読 イザヤ書 9:1~7

ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、いっさいを成し遂げて、堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい。 エペソ 6:13

闇、苦難、暗黒、死の陰、重荷のくびき、しいたげる者の杖、血にまみれた着物。イザヤ書9章には、神の民をしいたげ、妨げ、彼らから神様の偉大なお約束と真理を奪いそうな、過去および現在の状況が描かれています。

地を見ると真っ暗な状況に反して、ヘンデル(\*訳注)のメサイヤ『ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる』の歡喜の歌が、私たちの魂に響き、世の光、イエス様が主権を握られるという希望を与えてくれます。(\*訳注:ドイツ出身の作曲家、オルガニスト。1685-1759) それでも、時に私たちは、不正や邪悪さ、罪深さが、神様と神様の行いをあざけり、打ち負かしているように思えて、イエス様の主権を信じ難くなる場合があります。神様のやり方なんて無意味で古いという惑わしや嘘は破綻します。

歴史を通して、神様は、ご自分の敵を打ち負かすために、思いがけない時に現れました。神様は、さばきと正義によって治め、その主権(支配、行い)と平和は限りないのだということを証明されました。私たちには神様のご予定はわかりませんが、神様のご性質ゆえに信じましょう。神様は、私たちが御言葉を身につけ、信仰を持って従うよう望んでおられます。ですから、物事がどんなに暗く見えたとしても、万軍の主の熱心が目的を成し遂げられることを、ご自分の民を守られることを信じましょう。

讚美歌 267

祈り 万軍の主よ、信仰を持ってあなたにお従いする生き方をすると決意し、あなたのみことばはすべて真実であり、生きる者の地であなたの恵みを見られると信じ、堅く立たせてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

ネブラスカ州 ヨーク  
バージー A・ニーマン

1月26日(金)

## 確かなお約束

聖書朗読 エレミヤ書 1:1~19

わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。 ヨハネ 16:33

神様は混乱の時代にエレミヤを困難な仕事に召されました。バプテスマのヨハネがそうであったように(ルカ 1:13~17)、主はエレミヤを胎内に形造る前から、特別な預言者として聖別されていました。

神様は私たちを神様の良い行いをするために造られました。(エペソ 2:10) エジプトの王のところに行くよう言われて尻込みしたモーセのように(出エジプト 4:10~12)、エレミヤも、どう語っていいかわからないと言い張りしました。しかし、主は、モーセにもエレミヤにも、主がともにおられ、言うべきことを教えると約束されます。主は私たちにも、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みを与えてくださいます。(コリントII 9:8) 主は、これら三人の預言者たちとともにおられると約束されました。そのお約束は私たちに対しても同じです。『わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。』(ヘブル 13:5)と、主ご自身が言われます。

神様がともにおられます。神様のみことばは気休めではなくて、現実にあるお約束です。イエス様にお従いする私たちには世にあっては患難があると、イエス様はおっしゃいます。でも、イエス様はすでに世に勝ちました。イエス様によって、そして、神様がともにおられれば、私たちも同じように世に勝つことができます。ハレルヤ!

讚美歌 312

祈り 聖なる神様、今日、私たちは喜んであなたのお仕事をお引き受けし、それらを成し遂げるために必要な資源をいただきます。変わらぬ愛をありがとうございます。イエス様のお名前によって。アーメン。

サウスカロライナ州 ミュレルズ インレット  
ジーナ・ゴードン

1月27日(土)

## パリサイ人はしるしを求める

聖書朗読 エレミヤ書 7:1~11

ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。ヨハネ 1:14

学校の“ショウ&テル”(\*訳注)の時間に、先生に何か好きな物を持ってきて、それについて説明するようにと言われたことを覚えているでしょう。(\*訳注:アメリカやカナダ、オーストラリアなどの幼稚園や小学校で行なわれる、クラスメイトの前で自分の好きなものや興味のあること、最近の出来事などについて発表する教育科目)イエス様は『恵みとまことに満ちておられた』と書かれています。『恵みとまこと』こそ、イエス様の“ショウ&テル”でした。実際にイエス様の傍にいた者たちが、キリストがこれらの特性に満ちていると述べているのは意義深いことです。イエス様はまことを語り、まことを示されました。恵みを語り、恵みを示されました。

しかし、パリサイ人たちが、イエスは何者なのかと、しるしを見せてほしいと言った時、イエス様は預言者ヨナのしるしのほかに、しるしを与えられませんでした。(マタイ 12:38~41)ヨナは、ニネベの人々に神様の警告のことばを伝えるという使命を帯びて遣わされました。しかし、ヨナは、墮落し切ったニネベの人々に悔改めの機会を与えるような真理を説きたくなかったので、神様に背きました。それで、神様は、大風を海に吹きつけられ、海に投げ込まれたヨナを大きな魚にのみこませ、三日三晩、魚の腹の中に留めました。

今日、神様の大きい恵みについてよく考えましょう。愛と贖いの行いによる、神様の恵みとまことについて語りましょう。

讃美歌 448

祈り 主よ、あなたの恵みを見て、お受けし、み恵みのうちに生きられますように。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

テネシー州 ロックフォード / リネット・カーナハン・グレイ

1月28日(日)

## コウノトリよりも賢くあれ

聖書朗読 エレミヤ書 8:1~22

空のこうのとりの、自分の季節を知っており、山鳩、つばめ、つるも、自分の帰る時を守るのに、わたしの民は主の定めを知らない。エレミヤ 8:7

祖母も母も私も同じようなことをやっていました。冷蔵庫を徹底的に掃除するというような、それまで先延ばしにしていた仕事を一生懸命やって、終わった時、一歩下がって出来栄を眺めたものです。正面玄関ポーチに吊るしてあるウインド・ベルの紐と汚れに、ようやく取り掛かることができ、私は大変誇らしい気持ちでした。自分の計画に満足し、仕事の結果を見つめ、出来栄に満足しました。

でも、人生には、私たちが誇れない物事、目を逸らしたいようなことがあります。エレミヤ書には、神の子らが罪を犯し、『少しも恥じず、恥じることも知らない。』(エレミヤ 8:12)と書かれています。イスラエルの民は神様を拒み、そういう彼らの行いが賢明だと思ふまでになっていましたが、その実、鳥よりも愚かでした。

クリスチャンである私たちは、自分の行いに気を付けるようにとよく言われています。コリントII 13:5~6には、『信仰に立っているかどうか、自分自身をためし、また吟味しなさい。』とあります。コリントI 11:28では、『ひとりひとりが自分を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい。』と命令されています。自分を吟味することによって、私たちは自分の行いをイエス様の教えと照らし合わせることができます。愚かな自己満足と違って、心からの自己反省は悔改めと変化をもたらします。勇気を出して、過去に犯した恥ずかしいことを振り返りましょう。神様に告白し、あなたの心を変え、赦していただきましょう。

讃美歌 243

祈り 主よ、日々、自分を吟味し、あなたにお従いするのに必要な方策を講じることができるよう。御子イエス様に近づけるように助けてください。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

テネシー州 マキュアン / シャロン・フォースター